

協議（２）

直行坂東号の中間評価と令和４年度の運行について

＜協議事項＞

直行坂東号については、令和４年度も現在の運行内容を継続する。

１．直行坂東号の経過について

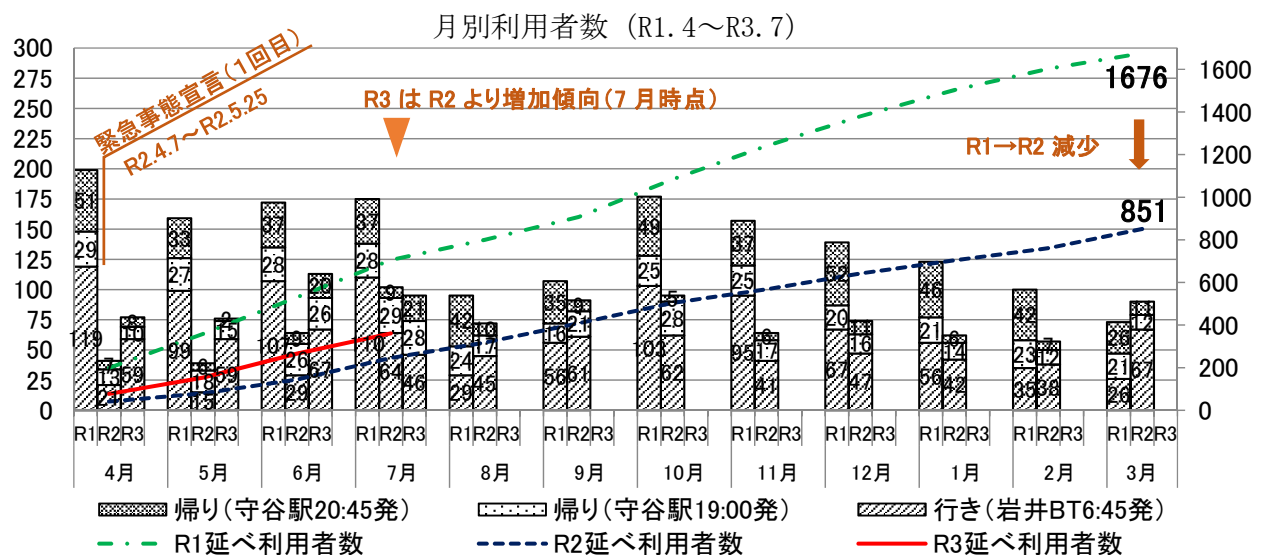
- ・東京方面への交通利便性向上による転出抑制及び定住促進を図ることを目的に、守谷駅と本市を結ぶ通勤・通学者向けの直行型路線バスとして運行している。
- ・運行内容としては、平日の朝１便と夜２便（民間路線バスの運行終了後）を民間路線バス会社に委託して運行している。
- ・次年度の運行については、本会議において、年度途中で中間評価を行い、協議することとしている。 ※目標値 ⇒ １便あたり平均利用者数３人以上

＜運行経費・利用状況＞

※H28. 3. 7 から運行開始

年度	経 費				利用状況		備 考
	合計 (千円)	市負担 (千円)	交付金 (千円)	円/便	合計 (人)	人/便	
H27	1,580	1,580	0	14,624	137	1.3	平日 6 便/日 (社会実験)
H28	18,834	0	18,834	13,079	2,844	2.0	
H29	19,309	11,197	8,112	13,353	3,549	2.5	
H30	19,750	9,875	9,875	13,715	3,291	2.3	
R1	10,264	10,264	0	14,558	1,676	2.4	平日 3 便/日
R2	10,604	10,604	0	14,667	851	1.2	

２．令和２年度及び今年度の利用状況について



<利用者数内訳>

単位：人

年度	行き 【坂東⇒守谷】	帰り 【守谷⇒坂東】			合計
	6:45 発	19:00 発	20:45 発	帰り 2 便 の合計	
R1	902	287	487	774	1,676
R2	532	223	96	319	851
R3 (～7 月)	231	79	51	130	361

<1 便あたりの平均利用者数内訳>

単位：人

年度	行き 【坂東⇒守谷】	帰り 【守谷⇒坂東】			全体平均
	6:45 発	19:00 発	20:45 発	帰り 2 便 の平均	
R1	3.8	1.2	2.1	1.6	2.4
R2	2.2	0.9	0.4	0.7	1.2
R3 (～7 月)	2.9	1.0	0.6	0.8	1.5

3. 中間評価

- R2 は、コロナ禍の影響もあり、利用者は R1 より半減している。特に、20:45 守谷発の便の割合が大きく減少している。(通勤・通学者のテレワーク等への変化が大きな要因と思われる。)
- R3 は、回復傾向にあり、7 月時点では R2 より利用者が約 47%増加している。
- 過年度及び R3.7 時点では、1 便あたりの平均利用者数が目標値に達していない。
- 今後の利用者の推移については、新型コロナウイルスとの関連もあり、不透明な状況である。

4. 運行内容を継続する理由

- R2 はコロナ禍での実績であり、これによる運行廃止等の判断はし難いため。
- 坂東市地域公共交通網形成計画では、「広域バス路線の維持」を計画目標・公共交通施策としており、市民に一番利用されている鉄道駅である守谷駅へのアクセス利便性を維持していきたいため。
- 別事業にて行った市民アンケート調査では、坂東市が住みにくい理由として、「公共交通の便が悪い」という意見が最も多く、転出抑制及び定住促進の観点からも最低限現状を維持していく必要があると考えるため。

5. 今後の方向性

利用者の利便性向上及び利用者の増加を図るため、待合環境を改善する等の利用促進策や運行内容の見直しを検討することとする。

■利用促進策として考えられること

- 待合環境の改善（パークアンドライド・サイクルアンドライドの促進）
- 定期代の補助
- 新たなチラシ・ポスターの配布・掲示
- 市の SNS（Facebook、LINE）への投稿
- ターゲットを絞った宣伝強化（守谷駅利用者、高校生、職業安定所等）
- バスの乗り方教室の開催

■運行内容の見直しとして考えられること

- 他の沿線市への停留所の追加（広域連携） →検討したが、実現難しい
- 運賃の値下げ・一律料金の導入 →検討したが、実現難しい
- 運行時間の変更